

Kure College		Year	2016	Course Title	英語表現II
Course Information					
Course Code	0033		Course Category	General / 選択必修	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Electrical Engineering and Information Science		Student Grade	2nd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	『Forest Overview English Grammar in 30 Lessons』（桐原書店）				
Instructor	Uesugi Yuko				
Course Objectives					
1. 英文法の基礎的な知識を理解する 2. 理解した英文法項目を表現の中で使用する。ワークを通して、インプットしたことをアウトプットできるよう実践練習する 3. 日常生活を送る上で、英語で簡単なコミュニケーションが出来る 4. 自分に適した多読用教材を選択し、英文に慣れ親しみ、その内容を大まかに把握できるようになる					
Rubric					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	英文法の基礎的な知識を詳細に理解できる		英文法の基礎的な知識を理解できる		英文法の基礎的な知識を理解できない
評価項目2	理解した英文法項目を表現の中で適切に使用できる		理解した英文法項目を表現の中で使用できる		理解した英文法項目を表現の中で使用できない
評価項目3	日常生活を送る上で、英語で簡単なコミュニケーションが適切に出来る		日常生活を送る上で、英語で簡単なコミュニケーションが出来る		日常生活を送る上で、英語で簡単なコミュニケーションが出来ない
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	文法・語法の講義と演習により英語表現の基礎力を養うと同時に、英会話に必要な表現力を身につける。本授業は進学と就職に関連し、コミュニケーション能力を身につけることができる。				
Style	演習を基本とする。				
Notice	テキストだけではなく、毎回辞書を必ず持参すること。プリントなどが多く配布されるため、ファイルを準備すること。演習を基本とする授業なので、集中して課題等に取り組み、積極的に授業に参加して欲しい。また、ALC学習状況把握するため定期的に小テストを実施する。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	概要説明、第1章 文の種類	○授業内容は次の通り伝送線路内における物理現象平叙文、疑問文、命令文、感嘆文伝送線路の基本式動詞の使い方、SV構文、SVC構文、SVO構文伝送線路における定常交流界SV00構文、SVOC構文、SVO+to/for構文伝送線路における定常交流界注意すべき動詞の現在形、現在進行形、過去形、過去進行形	
		2nd	第1章 文の種類、第2章 動詞と文型（1）		
		3rd	第2章 動詞と文型（1）		
		4th	第3章 動詞と文型（2）		
		5th	第3章 動詞と文型（2）、第4章 動詞と時制（1）		
		6th	第4章 動詞と時制（1）		
		7th	中間試験		
		8th	答案返却・解答説明		
	2nd Quarter	9th	第5章 動詞と時制（2）	未来を表す表現、条件節での現在形、進行形の注意すべき用法「完了・結果」「経験」「継続」を表す現在完了形、現在完了進行形過去完了形、過去完了進行形、未来完了形「能力・許可」「義務・必要」を表す助動詞	
		10th	第5章 動詞と時制（2）、第6章 完了形（1）		
		11th	第6章 完了形（1）		
		12th	第7章 完了形（2）		
		13th	第7章 完了形（2）、第8章 助動詞（1）		
		14th	第8章 助動詞（1）	"☆週一時間のMM室での授業では、ウェブ教材『ALC Net Academy2』および多読の授業を行う。" Academy2 英文法コース』を使用した演習と、多読を行う。	
		15th	期末試験		
		16th	答案返却・解答説明		

2nd Semester	3rd Quarter	1st	第9章 助動詞(2)	○授業内容は次の通り伝送線路内における物理現象「可能性・推量」を表す助動詞、will/would/shallの用法 need/used to の用法、助動詞+have+過去分詞構文 助動詞を含む慣用表現、that節で用いられるshouldの用法 受動態の基本形、受動態の様々な形、SVOO構文の受動態 SVOC構文の受動態、受動態の様々な形(2)、注意すべき受動
		2nd	第9章 助動詞(2)、第10章 助動詞(3)	
		3rd	第10章 助動詞(3)	
		4th	Plus 助動詞	
		5th	Plus 助動詞、第11章 態(1)	
		6th	第11章 態(1)	
		7th	第12章 態(2)	
		8th	中間試験	
	4th Quarter	9th	答案返却・解答説明	
		10th	第12章 態(2)、第13章 不定詞(1)	名詞的用法、形容的用法 副詞的用法、SVO+不定詞構文、不定詞の主語、否定後の位置 使役動詞・知覚動詞を使った表現、不定詞の様々な形
		11th	第13章 不定詞(1)	
		12th	第14章 不定詞(2)	
		13th	第14章 不定詞(2)、第15章 不定詞(3)	
		14th	第15章 不定詞(3)	"☆週一時間のMM室での授業では、ウェブ教材『ALC Net Academy2』および多読の授業を行う。" Academy2 英文法コース』を使用した演習と、多読を行う。
		15th	学年末試験	
		16th	答案返却・解答説明	

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	40	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0